

安全文化7原則とJANSIの活動

安全文化の7原則	主要要素	細目	主要活動(各種セミナーは除外)	
1 安全最優先の価値観 安全最優先の価値が組織及び個人に認識されていること	1.1 組織統制 安全最優先の方針の現場の個人までの周知	1.1.1 経営トップのコミットメント 1.1.2 経営トップのチャレンジ精神 1.1.3 現場への浸透 1.1.4 現場実態の評価 1.1.5 組織変更時の評価 1.1.6 劣化兆候の評価 1.1.7 マネジメントレビュー 1.1.8 内部監査 1.1.9 計画性	[強化対象] 1.1.1 経営トップのコミットメント (活動) ・特別会員代表者会議(CEO会議) → <b>トップのコミットメントの強化</b> [強化対象] 1.1.2 経営トップのチャレンジ精神 (活動) ・CEO会議 ・発電所総合評価 ・提言・勧告の発出 ・トップダウン型の意思決定の活用 → <b>エクセレンスの追及 ピアプレッシャーの活用</b> [強化対象] 1.1.4 現場実態の把握 1.1.6 劣化兆候の評価 (活動) ・ピアレビュー結果の事業者トップへの報告 ・安全文化アセスメント結果の事業者トップへの報告 → <b>トップによる現場実態の直接把握 トップによる現場意識の直接把握</b>	
	1.2 リソース管理 リソース(業務と要員、安全対策費用)の配置、提供	1.2.1 人材配置 1.2.2 力量管理 1.2.3 年齢構成 1.2.4 資金の確保 1.2.5 資金の分配(運用)	[強化対象] 1.3.1-1.3.6 設計思想、設備の安全機能の管理、浸透、維持 (活動) ・SARガイドライン作成 ・民間規格の整備 ・火災防護等個別テーマタスク → <b>安全性の体系的把握 安全に関する規格類の再整備 個別テーマへの積極的な取り組み</b> [強化対象] 1.3.8 深層防護の適用 (活動) ・SA対策に対する深層防護評価 → <b>原点からの再確認</b>	
	1.3 設計思想と安全機能 原子力プラントの設計思想と安全機能の理解、運転裕度と深層防護への特別な注意	1.3.1 設計思想の管理 1.3.2 設計思想の浸透 1.3.3 設計思想の維持 1.3.4 設備の安全機能の管理 1.3.5 設備の安全機能の浸透 1.3.6 設備の安全機能の維持 1.3.7 安全設計と運転裕度 1.3.8 深層防護の適用		
	2 トップのリーダーシップ トップは安全のコミットメントを強いリーダーシップにより明確にすること	2.1 リーダーシップ 所の幹部による安全への取組み、意思決定	2.1.1 幹部/管理職の意識 2.1.2 幹部/管理職の姿勢(関与) 2.1.3 意思決定の体制・手順	[強化対象] 2.1.1 幹部/管理職の意識 2.1.2 幹部/管理職の姿勢(関与) (活動) ・ピアレビューへのCEOの関与 ・コーポレートピアレビュー ・リーダーシップパイプライン研修
		2.2 コミットメント 幹部、管理者による安全についての現場へのコミットメント	2.2.1 現場管理 2.2.2 現場への指示 2.2.3 現場の納得感	[強化対象] 2.1.3 意思決定の体制・手順 (活動) ・トップダウン型の意思決定の活用
		2.3 安全ポリシーの尊重 幹部、管理者による安全方針の尊重と実践	2.3.1 幹部/管理職の実践 2.3.2 高い目標設定	[強化対象] 2.3.2 高い目標設定 (活動) ・エクセレンスの追求 ・SA対策に対する深層防護評価 ・ピアレビュー(エクセレンスガイドラインの作成)
	3 安全確保の仕組み 業務や活動に安全確保の仕組みが取り込まれていること	3.1 作業管理・変更管理 作業を適切に進めるための実効的な施策整備	3.1.1 実効的な管理体制 3.1.2 設計/開発の確認体制 3.1.3 作業手順、手順の変更 3.1.4 業務管理 3.1.5 調達管理 3.1.6 力量管理 3.1.7 文書管理 3.1.8 記録管理 3.1.9 不適合管理 3.1.10 予備品管理 3.1.11 測定機器等の管理 3.1.12 作業環境の管理	[強化対象] 3.1.1 実効的な管理体制 (活動) ・QMS活動を対象として相互レビュー [強化対象] 3.1.4 業務管理 (活動) ・内部監査を対象として相互レビュー
		3.2 ルールの遵守 協会社を含めた規則の周知、遵守、指導	3.2.1 ルールの周知 3.2.2 ルールの遵守状況の確認 3.2.3 コンプライアンスの醸成方法 3.2.4 ルールの維持・管理	[強化対象] 3.1.6 力量管理 (活動) ・運転責任者判定制度 ・保安技量認定制度 ・その他認定制度の検討 ・人材育成ガイドライン
	4 円滑なコミュニケーション 組織内部・関係機関及び一般社会と円滑なコミュニケーションを保つこと	4.1 縦のコミュニケーション(本店を含む上下組織間の意思の疎通)	4.1.1 本店・事業所間の情報交換、意思の疎通 4.1.2 事業所内上下間での情報交換、意思の疎通	[強化対象] 4.1.1-4.3.1 コミュニケーション (活動) ・安全文化アンケート ・安全文化アセスメント
		4.2 縦のコミュニケーション(協会社との関係)	4.2.1 事業所・協会社間の情報交換、意思の疎通	[強化対象] 4.4.1 ステークホルダーとのコミュニケーション (活動) ・連絡代表者(SR)の設置 ・現場技術者ネットワーク(電力共通技術基盤) ・規制庁との連携(例:OE情報処理、防災訓練)
		4.3 横のコミュニケーション 職場内、職場間の円滑なコミュニケーション	4.3.1 事業所内部署間での情報交換、意思の疎通	
		4.4 外部との対話 信頼確保のための一般社会との円滑なコミュニケーション	4.4.1 ステークホルダーとのコミュニケーション	
	5 問いかけ・学ぶ姿勢 組織及びそれを構成する個人は、問いかけ・学び・責任を持って是正する姿勢が必要	5.1 安全に対する学習の姿勢 効果的な安全教育、進んで安全教育を受ける姿勢	5.1.1 問いかける姿勢	[強化対象] 5.1.1 問いかける姿勢 (活動) ・SRの活用 ・国内外のSA対策データベース作成 ・リーダーシップ研修プログラムの体系化 ・海外機関との連携 ・国際会議への出席 → <b>問い掛け、学ぶ環境の整備 問い掛け、学ぶことの実践 問い掛け、学ぶ姿勢を教育</b>
5.2 各種情報の周知と活用 トラブル・事故の教訓等の積極的な活用		5.2.1 情報の種類と評価 5.2.2 情報の共有 5.2.3 情報の活用	[強化対象] 5.2.3 情報の共有 5.3.3 情報の活用 (活動) ・OE文書の発信 ・電力共通技術基盤の拡充 ・ホームページ等情報ネットワークの拡充 → <b>過去から学ぶことの実践 仲間から学ぶことの実践</b>	
5.3 技術伝承 ノウハウ、経験の技術伝承(環境、実践)		5.3.1 技術伝承(過去から現在へ) 5.3.2 技術伝承(現在から未来へ)	[強化対象] 5.5.1 改善活動の促進 (活動) ・代表者から事業者トップへの勧告・提言 ・ピアレビューの積極的活用 → <b>問い掛け、学び、是正を実践</b>	
5.4 改善活動 安全を高める改善、是正活動への取り組み		5.4.1 改善活動の促進		
6 リスクの認識 組織及びそれを構成する個人は、業務や設備の潜在的なリスクを認識すること	6.1 トラブル・事故の未然防止 トラブル・事故の未然防止の仕組み	6.1.1 未然防止(予防措置)策	[強化対象] 6.1.1 未然防止(予防措置)策 (活動) ・情報分析活動強化(OE文書の発信、対策の提示等) ・ヒューマンファクター分析検討 ・RCAの充実 ・QMS支援 ・電力共通技術基盤の拡充 → <b>潜在リスクの明確化</b>	
	6.2 安全確保行動(リスク認識) 潜在的リスク意識、危険予知能力、行動への反映	6.2.1 潜在リスクの認識	[強化対象] 6.2.1 潜在リスクの認識 (活動) ・PRAの体制整備 → <b>潜在リスクの見える化</b>	
	6.3 重大事象への備え 外部事象に対する予防措置、過酷事故に関するマニュアルや訓練等への反映	6.3.1 準備 6.3.2 危機対応 6.3.3 訓練 6.3.4 緊急対応設備等の管理状況 6.3.5 新知見の反映	[強化対象] 6.3.2 危機対応 (活動) ・緊急時における支援体制の構築 → <b>顕在化したリスクへの対応</b>	
	6.4 訓練 緊急時対応訓練の支援	6.4.1 訓練	[強化対象] 6.3.5 新知見の反映 (活動) ・国際会議への出席 ・海外機関との連携 ・海外調査 → <b>新知見の積極的収集</b>	
	6.5 海外調査	6.5.1 海外調査		
7 活気のある職場環境 自由に発言できる、活気と創造力のある職場環境であること	7.1 モチベーション・マイブラント意識 やりがい、モチベーション、誇り、マイブラント意識の持てる環境と仕組み	7.1.1 モチベーション 7.1.2 マイブラント意識	[強化対象] 7.1.1 モチベーション 7.1.2 マイブラント意識 (活動) ・発電所総合評価システム(インセンティブとの連携) ・表彰システム ・安全文化アンケート ・安全文化アセスメント ・安全文化キャラバン	
	7.2 納得感と信頼感 職場の納得感と信頼感、自由な発言、チャレンジができる環境	7.2.1 職場風土 7.2.2 内部コミュニケーション	[強化対象] 7.2.1 職場風土 7.2.2 内部コミュニケーション	
	7.3 職場環境 過大なストレスのない職場環境	7.3.1 精神衛生 7.3.2 作業環境	[強化対象] 7.3.1 精神衛生 7.3.2 作業環境	
	7.4 技術者の倫理 技術者の良心を持った業務の遂行	7.4.1 技術者倫理	[強化対象] 7.4.1 技術者倫理	